

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和6年10月7日(月) 午後4時00分～午後5時00分
地 区	星田西地区
場 所	星田西3丁目集会所
参加人数	13人

テーマ1 「道路の安全対策について」

主 旨 (区長)

- コモンシティができて30年が過ぎ、道路や遊歩道等、各所に老朽化が進み危険な箇所が出てきている。その都度、市(道路河川課や緑地公園課)に相談し、対策を立て補修も順次行っているが、改めて市長に現状を知ってほしい。
- 主に道路の問題が多く、アスファルトよりレンガブロック(インターロッキング)が傷んでいる部分が多い。一度道路河川課が補修をしたが、凝った造りであるため修復が難しく、完全には直っていない状態である。また、インターロッキングの箇所を補修する際は、アスファルトにせず現状のまま維持してほしい。また、このような現状を市長に知っていただいた上で補修のための予算付けを考えていただきたい。
- 星田ゴルフセンター近くの交差点の見通しが悪く、カーブミラーを設置するか一旦停止にする等の対応をしてほしい。最近ではトラック事故もあり、過去には死亡事故も起きている。警察には相談しており近々面談をする予定である。

市 長

- 道路については、5年に1度、路面性状調査を行い計画的に改修等を行っているが、基本的に幹線道路が対象となるため、住宅地内の道路が対象になる可能性は低い。その理由については、住宅地は40～50年で家の建て替えが行われることが多く、その際に上下水管と同様に道路の修繕が行われるためである。
- インターロッキングの箇所を、現状のまま維持することは困難だと考えている。傷みが大きい箇所については部分的にアスファルト舗装を行い、最終的に道路全体をアスファルトにせざるを得ない。
- 緑道に関しては、早急に補修が必要な箇所についてはピンポイントで対応しているが、市内の他地域では完成から50年近く経過している箇所もあり、そちらを優先せざるを得ない。予算についても星田西地区のみを増やすことは難しい。
- 交差点の道路標識等については、基本的には警察の管轄下になる。また、交通量も多くはなく、直線車が明らかに優先となるため一時停止にするのは難しい。

テーマ2 「街路樹の緑地の草木の管理について」

主旨（区長）

- 緑地の樹木が大きくなっており、住宅地の敷地内に入っている箇所もあるため市に伐採を依頼したい。なお、今後は緑地公園課へ相談していく予定である。緑地を住民で管理するには負担も多いため市に依頼したい。
 - [市長] 伐採は可能だが、木々の伐採については様々な考え方があるため、地区で意見を取りまとめて市へ提出してほしい。
 - [地域] どの程度伐採や剪定を行うのか地区に全てを任せるのではなく、市の判断で適正な管理を行ってほしい。
 - [市長] 難しい問題だと考えている。木の伐採にはについては様々な考え方あり、全ての意見を実現することはできないため、地区で意見をまとめていただきたい。
 - [区長] 落ち葉を毎日拾う等、木々の管理に苦勞している人がいる。私としては一番苦勞をしている方の意見を聞いていきたいと考えている。

テーマ3 「テーマ公共交通について」

主旨（区長）

- 京阪バス路線が全面撤退することを受けた件について、市長より「切れ目なく地域の足を守る」とおっしゃっていただいたことについて詳しく話を聞きたい。

市長

- 京阪バスがいつかは撤退すると思っていたが、利用率が低い路線のみで、コモンシティのように利用率が高い路線も撤廃するとは考えていなかった。寝屋川市についても昨年度京阪バスが撤廃したが、利用率の低い路線のみであり、撤廃した路線についてはタクシー会社がワゴン車を走らせることで解決した。しかし、コモンシティでは朝の6、7時台に1時間当たり約60人の利用者がいるため、ワゴン車で代替えをすることはできない。バス車両については購入やレンタルで確保できたとしても、運転手（大型二種免許取得者）の確保が難しい。理由の一つに大阪万博での運転手の募集がある。
- 令和7年度については、交通空白地域に認定されたため、大型一種免許取得者でもバスの運行が可能になる。まずは委託業者に運転手の確保を依頼し、それでも確保が難しい場合は、市の環境事業所や消防といった大型一種運転免許取得者がいる部署の職員、もしくは定年退職者を配置するなどして運転手を確保していくことも考えている。また、予算については議会の承認を得て2億9千万円を確保した。なお、利用料等の詳細については未定だが、星田駅からコモンシティまでの路線は維持していきたいと考えている。令和8年度については、様々な意見を聞いた上で方針を決めていきたい。

区長

- 市長が路線の維持に尽力していただいている事は理解しており感謝している。また、11月の地域公共交通会議で、具体的な運航内容の案を市が提示してくれると聞いている。
- 本日タウンミーティング前に、星田西地区と京阪バスで意見交換を行ったが、運転手不足により路線の維持が難しく撤退せざるを得ないとのことだった。
- 京阪バスの路線が運転手不足により廃止となったが、車両本体は使用できるはずである。交野市から京阪バスにアプローチし、リースや無償提供等について交渉できないか。

→ [市長] 車両に関しては最終的に購入するしかないと考えている。数年後京阪バスが交野市に戻るのであればリースやレンタル等も考えられるが、現状その可能性は低い。なお、交野市で必要なバス車両は予備も含めて合計4台と考えている。バスの運行に関しては、交野市にノウハウがないため、運行管理事業者に依頼するよう考えている。また、話をしている運行管理者より、バス本体の車両は用意できると回答を得ている。なお、バスの運行費用のほとんどが人件費である。

意見

- 経営主体は交野市になるのか。運行管理を民間会社に業務委託するのか。料金を市で決定するのか。

→ [市長] 設置主体は交野市となる。運行管理については、交野市にノウハウがないため民間業者に依頼する予定である。運転手の確保に関しても、まずはバス事業者を通じて募集するが、将来的な可能性としては市で確保し、運行管理については民間会社に依頼することも考えている。市営バスとしてノウハウを持っているのが高槻市や京都市など、限られた市のみであるため本市では現状難しい。

- 2億9千万円の債務負担行為（予算）は複数年度分、それとも単年度分になるのか。

→ [市長] 債務負担行為については3月22日から開始される。複雑だが、車両の購入費6千万円については3年間のリース契約のため3年間分。それ以外の金額については3月22日から来年度末分までとなる。なお、金額についてはあくまで上限額となるため、実際の契約金額とは異なる。また、補助金や運賃収入（約3~4千万円）、京阪バスへ支払っていた2千万円が支払い不要となること等、さまざまな要因があるため現状は未確定である。

- バスの発着時間を JR 星田駅と連携させて、電車への乗り換え時の待ち時間を減らしてほしい。

→ [市長] 令和7年度については現在のバスの本数のまま維持していきたいと考えており、JR 星田駅の到着時間に合わせて増便することは難しい。

→ [地域] 今運行しているバスの時間を JR 星田駅と連携するだけでもありがたい。

市長

- 市がバスを運営すると、乗車人数がデータとして詳しく解るため、路線を維持するためにもバスを利用してほしい。(赤字額が大きかったり、乗車人数が少ないと縮小せざるを得ない) また、支払い方法については ICOCA 等の電子マネーの利用が主になる可能性がある。
 - [地域] バスを利用するキャンペーン等を行い、周知していくのも我々の役目であると考えている。バス利用者が少なくなるとバスが減便されることは当前のことで、今までバスが走っていることが当たり前であると漫然と構えていた部分もある。具体的にどの程度赤字になると議会から指摘されたり、撤廃や減便になる目安はあるのか。
 - [市長] 現状、具体的な数字の話しまでは進んでいない。京阪バスの実績からいうと運行にかかった経費に関しては 8 千万円～1 億円程度で、その約半分が赤字と聞いている。交野市が運行することになると、どの程度の人件費がかかるかは不明だが、厳しい意見を受けると想定される。しかし、駅に行くまでの経費が赤字になることは公共交通を守るためにやむを得ないと考えている。

意見

- バスの運営がどのような形態になろうが、長期的な目線で考え、市民が安心して暮らせるまちづくりのために、行政と市民が力を合わせて一緒に解決していきたい。
 - [市長] 私が着任した時点では地域公共交通という考えがなく急いで検討した。また国から支持のあった立地適正化計画においても今年作成している段階である。また、全体の公共交通計画については来年度作成予定である。
- 京阪バスの路線を確保するのも大事だが、コモンシティから市役所や、ゆうゆうセンターへいく路線も考えてほしい。
 - [市長] 交野市は駅が多く 6 駅あるため、全ての駅にバス路線を確保することは難しい。住宅地から最寄り駅までのバス路線は確保するため、駅からは電車を使って移動してほしい。なお、市役所については現在の場所がベストだと考えていないため、将来的には移転を考えている。
- 利用客が多い時間帯と少ない時間帯を分けて考えていく必要があるのではないかと。
 - [市長] 令和 4 年 10 月より京阪バスの路線が見直され、朝夕の利用客が多い時間を除いた日中の路線に関しては、南部路線(妙見坂、妙見東、南星台)を迂回する路線を運航しているが、地域住民から否定的な意見も多く、今後のバス運行に関わる課題と考えている。また別の案としては、朝夕は現状どおりバスを運行し、日中の利用

客が少ない時間帯はバスの運行を止めてオンデマンドを利用する方法もあるが、タクシー会社に大きな影響を与えてしまうため容易に導入ができないことを理解してほしい。

- 運行管理を委託業者へ依頼するという事は、運営主体は市と考えていいのか。また、運賃は市で決められるのか。
→ [市長] 運営主体は交野市になり、運賃等も市で決めることができる。
- 20～30年先の未来を見据えた市の運営をお願いしたい。今以上に高齢化が進み、人口が減っていくことも踏まえ、まちが廃れずに活気を維持できるような運営をしてほしい。
→ [市長] 未来を見据え、将来的に負担が残らない市政運営を行っていきたい。